

## 萩の地質学的起源

古代、日本はユーラシア大陸の一部だったが、何百万年もの間に、大陸の端にあった陸地が分断されて東に移動し、日本海と日本列島が形成された。海底火山が発生しました。陸地の下のプレートが移動し続けると、海底火山が噴火して海の上に昇ってきた。1億年の歳月をかけて噴火を繰り返す、火成岩が積み重なって日本列島が誕生した。今日の風景は、萩の景観が200万年前からの火山噴火によって形成されたことを物語っている。

左から右へ、上から下へ

左の縦列（緑色）

新生代

6600万年前

中生代

2億5千万年前

古生代

5億4400万年前

（オレンジ色）

第四紀（260万年前～現在）

新第三紀（2300万年前～260万年前）

古第三紀（6550万年前～2300万年前）

白亜紀（1億4550万年前～6550万年前）

ジュラ紀（2億130万年前～1億4550万年前）

三畳紀（2億5190万年前～2億130万年前）

ペルム紀（2億9890万年前～2億5190万年前）

石炭紀（3億5920万年前～2億9890万年前）

写真のキャプション

13 壺ヶ淵